

まちづくりファンド

平成30年11月15日  
都市局  
まちづくり推進課

## 長野の中心市街地・善光寺周辺エリアにおける 民間主体のリノベーションまちづくりを支援します！

～「NAGANO まちづくり応援ファンド」を設立、都市のスポンジ化対策にも寄与～

本日、民都機構は、長野信用金庫との間で、「NAGANO まちづくり応援ファンド」を設立しました。

同ファンドを通じて、長野市中心市街地及び善光寺周辺エリアにおいて、<sup>もんぜんまち</sup>門前町の新たな賑わいや回遊性を創造するため、空き店舗・空き家等を活用した民間主体のリノベーションまちづくり活動を支援してまいります。

- 国土交通省と民都機構（一般財団法人民間都市開発推進機構）は、地域金融機関と連携して、一定のエリアをマネジメントしつつ、当該地域の課題解決に資するリノベーション等の民間まちづくり事業を連鎖的に進めるため、当該事業へ出資等を行う「マネジメント型まちづくりファンド支援事業」を平成29年度より開始しました。[資料1参照](#)
- 本日、民都機構は、長野信用金庫との間で、「NAGANO まちづくり応援ファンド」を設立し、同ファンドへ出資することとなりました。同ファンドでは長野市中心市街地及び善光寺周辺エリアにおいて、門前町の新たな賑わいや回遊性を創造するため、民間による空き店舗・空き家等の飲食・物販・宿泊施設等へのリノベーション事業を支援してまいります。なお、[立地適正化計画作成市町村におけるファンド組成は、本件が初めてとなります。](#)[資料2参照](#)
- 善光寺周辺エリアでは、既に身の回りの公共空間（コモンズ）を創出する取組も行われており、同ファンドによる支援を通じて、民間まちづくり事業がより一層促進され、長野市立地適正化計画（※）の具体化、都市のスポンジ化対策にも寄与するものと考えられます。

（イメージ）



（※）長野市立地適正化計画（平成29年3月）（抜粋）

○リノベーションまちづくりの推進

中心市街地等で、古民家、蔵、倉庫などの遊休不動産を改修（リノベーション）し、シェアオフィスやカフェなどに用途転換することで、新たな賑わいや回遊性を創造する。

<問い合わせ先>

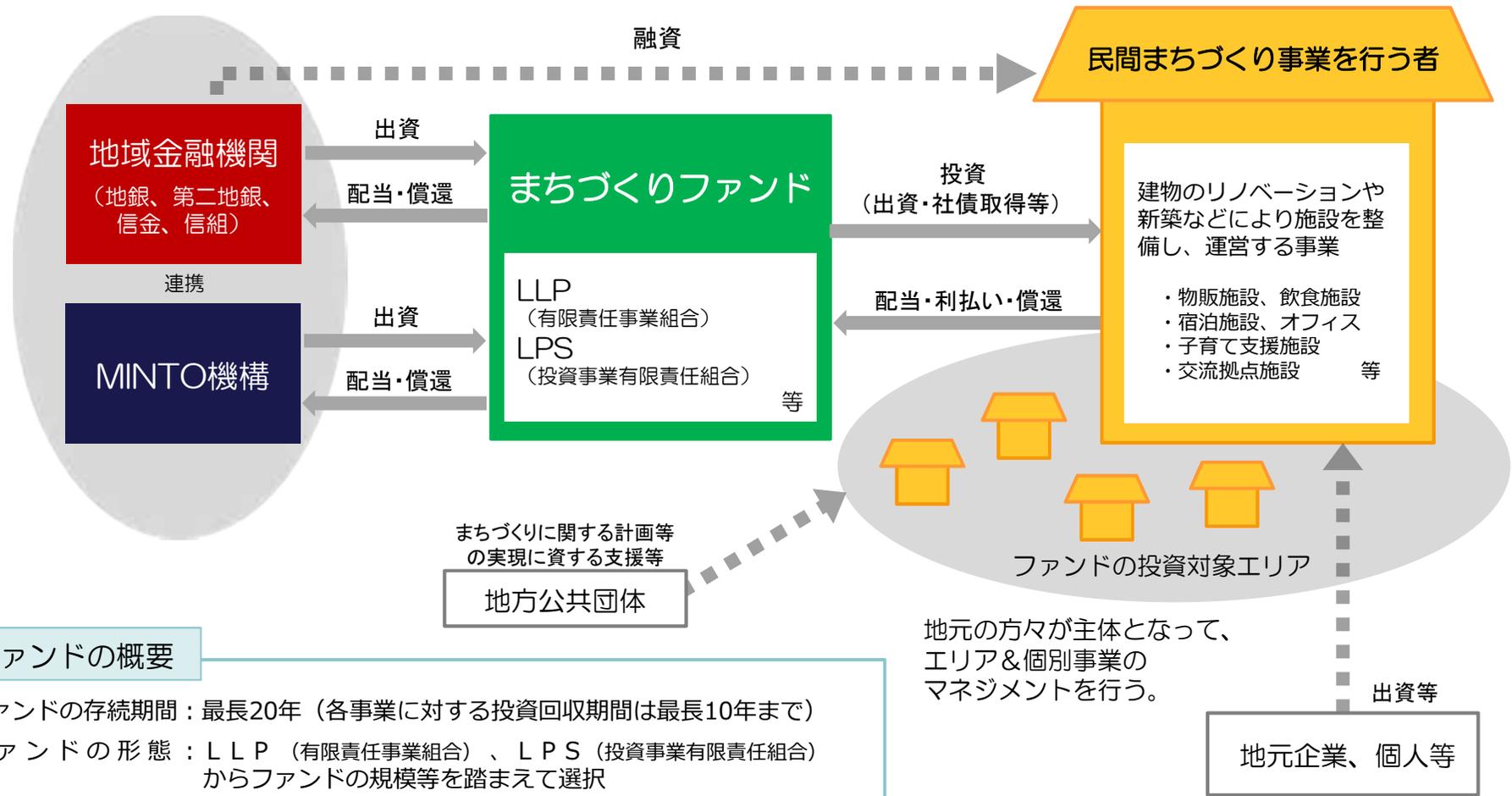
国土交通省 都市局 まちづくり推進課 担当：松田（賢）、中川、木村  
電話：03-5253-8111(代表)(内線 32-532, 32-533) 03-5253-8127(直通)  
FAX：03-5253-1589

# マネジメント型まちづくりファンド支援業務について

資料1

地域金融機関と民都機構が連携して「まちづくりファンド」を組成し、当該ファンドからの投資（出資・社債取得等）を通じて、民間事業者によるまちづくり事業を一定のエリアにおいて連鎖的に進めることで、当該エリアの価値向上を図りつつ、地域の課題解決に貢献します。

マネジメント型まちづくりファンド支援業務のスキーム図



## ファンドの概要

- ファンドの存続期間：最長20年（各事業に対する投資回収期間は最長10年まで）
- ファンドの形態：LLP（有限責任事業組合）、LPS（投資事業有限責任組合）からファンドの規模等を踏まえて選択
- ファンドの資金規模：数千万円～数億円を想定
- 民都機構の出資上限：ファンド総額の1/2を上限とする。

## NAGANOまちづくり応援ファンド

長野信用金庫は、「まちづくりアテンダント」や「しんみせ」応援プロジェクトによる事業者育成に取り組んでいる。  
 当ファンドは、こうした取組との相乗効果により、事業者が門前町の新たな賑わいや回遊性を創造し、都市機能の維持・強化を図る民間まちづくり事業を支援する。

※まちづくりアテンダント：創業3年未満の事業者に対し、定期的な訪問活動を実施  
 「しんみせ」応援プロジェクト：長野市中心市街地で創業する事業者に対し、1人あたり30万円を交付

- ファンド総額： 8,000万円  
 (長野信金：4,000万円、民都機構：4,000万円)
- 対象エリア： 長野市中心市街地及び善光寺周辺エリア
- 地域の課題： 人口減少、地価下落、小売業等の売り場面積減少、事務所や倉庫等の空き店舗化が進み、長野市最大の観光資源である門前町の空洞化が進展している。
- 対象事業： 空き店舗・空き家等をリノベーション等により活用し、飲食施設・物販施設・宿泊施設などを整備・運営するまちづくり事業。

【イメージ】



【スキーム】

